西会津町立西会津中学校通信　　平成３０年７月２日発行　第２号

西中通信

発行　西会津中学校
文責　五十嵐正彦（校長）

小中学校の連携を強める

西会津町教育長講話並びに小中連携合同協議会を実施

　去る六月二十五日（月）中学校多目的ホールにおいて、江添信城町教育長においでいただき、小中教員を対象とした教育長講話並びに小中連携合同協議会を行いました。
　教育長からは、町の新しい教育の方向性について、予測不可能な未来社会に対応できる児童生徒の育成等の視点で話がありました。また、後半は小中教員がグループに分かれ、情報交換や今後の協力体制等についての話し合いを行いました。

【教育長講話より】
教育には、変えてはならないものと、変えなければならないものがある。西会津の良さを伝える。
不易：西会津の歴史・文化・精神性
流行：予測困難な時代を生きていく新しい力
　未来の社会は予測不可能であり、AI等の技術革新で現在の４７%の仕事がなくなる可能性がある。人工知能では代替できない能力の育成が必要である。例えば、
○２１世紀型スキル・汎用的スキル・非認知スキル
○人間ならではの感性や創造性

地域に開かれた教育課程を編成し、変化する社会の動きを取り込むことが、子供達が主体的に学ぶ鍵になる。そこで、産官学民との積極的な連携を進めたい。例えば有効な実践として、プログラミング教育があげられる。（戸田市の実践を映像で紹介）今後、民間企業と協力して進めていきたい。

【小中合同協議会より】
「学習指導」については、今後ますます求められる学び合いについて、小中学校それぞれの取組を紹介し合うとともに、課題を確認し合いました。
「体力・健康」については、小中の交流が学び合いや学びのつなぎに大変役立っていることなどを確認するとともに、課題である肥満対策について意見交換しました。

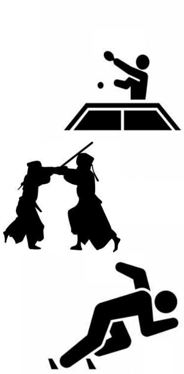
「生徒指導」については、不登校の防止や有効な対応のために、小中合同の生徒指導部会を開催して、情報交換などを行っていくことになりました。また、家庭との連携の重要性を確認しました。
「特別支援教育」については、それぞれの支援の現状と課題について確認し合い、今後、小中が協力して実践できる場を作りたいとの意見が出されました。

小中連携の基本は、小中教員間の対話だと思います。短時間ではありましたが、大変有意義な話し合いでした。今後も対話を重ねて、小中連携を強めていきます。

『基礎基本の定着』『読書』が鍵を握っている

思考力（読解力・要約力）の育成を！

　会津の小・中・高等学校では、「学びをつなぐ・育ちをつなぐ会津の教育」ということで共通実践に取り組んでいます。その中で、学力について、思考力（読解力・要約力）の重要性が第一にあげられています。そして、思考力の土台は「基礎基本の定着」と「読書」に他ならないのです。
　本校でも、授業はもとより読書計算コンクール（7／5に行います）や朝読書の充実、図書館を活用した授業などに取り組んでいます。
　そして、それらをさらにしっかり定着させるのが、家庭学習や家での読書です。本は親子のコミュニケーションの材料にもなりますので、家族ぐるみで読書タイムをもつのよいことです。



西中ファイト！県大会がんばれ

　七月四日（水）〜六日（金）いわき市で陸上競技が行われます。三年男子１００ｍ、共通男子３０００ｍ、共通男子棒高跳び、共通女子砲丸投げに４名が出場します。まずは自己ベスト更新目指してがんばってほしいと思います。
　七月二十二日（日）〜二十四日（火）いわき市で卓球競技が、白河市で剣道競技が行われます。卓球は、女子団体、女子シングルス、男子ダブルスに十名が出場します。剣道は、女子個人に一名が出場します。まずは一戦必勝で、持てる力を全て出し切ってがんばってほしいと思います。

フォトミニアルバム

認知症サポート養成講座で、３年生が講師の話を真剣に聞いています。

各種大会の入賞を堂々と報告しています。

特設合唱部が昼休みに練習しています。

7月7日（土）授業参観・保護者会　ファミリー学級へおいでください

　１学期も残りわずかです。この機会に、授業をご覧になって、担任の話を聞いて、お子様の成長をご確認ください。また、ファミリー学級でコンサートもありますので、楽しみにおいでください。多数のご参加をお待ちしています。